

- ・ 婦人科 先進がん治療
- ・ 地域連携研修会の報告
- ・ 地域連携センター
主任看護師長挨拶

医療連携 だより

NEW

山梨県内で初！ 「地域医療支援病院」 の承認を受けました。

当病院は平成28年7月1日に、山梨県知事より「地域医療支援病院」の承認を受けました。
全国には既に500を超える病院が承認されておりますが、山梨県内の医療機関では初めてです。

1. 承認までの取り組み

これまで、地域連携センターを中心に

- ① 丁寧な返書。紹介患者さんのスムーズな受け入れ。
逆紹介の推進。連携登録医への訪問。
- ② 医療機器の共同利用促進・共同病床の開設
- ③ 3次救急だけでなく、2次救急に関しても役割を果たす。
- ④ 地域連携研修会の開催。

などに取り組んで来ました。

おかげさまで、地域医療支援病院の承認要件をクリアすることができました。

2. 今後の取り組み

現在地域連携センターでは上記取り組みに加えて、電話予約（総合予約センター）に力を入れております。

予約電話は055-253-7900を専用番号とし、紹介状のある患者さんは自分でも予約をとって受診ができるようになりました。再診の予約の変更も同じ番号ですので、受診を希望する患者さんには電話をかけてからの受診を勧めて下さい。

その中で紹介状のない患者さんで、緊急性の無い、あるいは特別な検査が必要でない患者さんには、かかりつけ医の先生方の受診をまず勧める場合がありますのでよろしくお願いいたします。

最後にまだまだ、足りない部分もあるかと思いますが、地域医療支援病院にふさわしい病院となるよう頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。



地域連携センター
統括部長

井上 正晴



地方独立行政法人山梨県立病院機構

山梨県立中央病院

YAMANASHI PREFECTURAL CENTRAL HOSPITAL

地域連携センター

〒400-8506 山梨県甲府市富士見1-1-1
TEL.055-253-7111/FAX. (直通) 055-253-2903

Topics 婦人科がん 先進医療への 取り組み

婦人科がん悩む女性に より良い医療を提供する 先進医療への取り組み



婦人科 副部長

坂本 育子

婦人科がん(子宮頸癌、体癌、卵巣癌)は、比較的若い40~50代女性のがん死亡の上位を占めており、近年増加傾向にあります。

当科では都道府県がん拠点病院として婦人科がんの診断や治療法の改善に努め、2016年8月現在、近県でも数少ない先進医療が行える病院となっております。

その主な取り組みを今回ご紹介いたします。

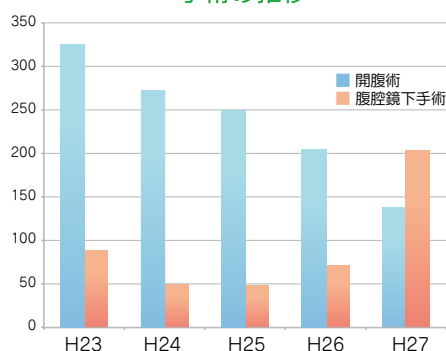
CHECK 2

分子標的薬の導入 Compassionate Use

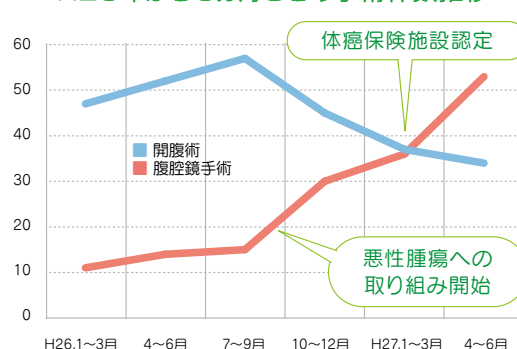
当科ではゲノム解析センターと連携し、遺伝性乳癌、卵巣癌への取り組みを行ってまいりました。卵巣癌症例、特に予後の悪いタイプの卵巣癌のおよそ2割にBRCA遺伝子の変異があることがわかってきております。BRCA遺伝子変異をもつ卵巣癌には「オラパリブ」が高い治療効果を示すとされております。「オラパリブ」はもう間もなく日本でも保険認可される予定といわれている薬ですが、国内で使用されるのは個人輸入か治験使用のみです。この「ドラッグラグ」を解消するために、国際コンパッションエース制度を用いて、当院でBRCA遺伝子変異陽性卵巣癌と診断された患者様を対象に無償で「オラパリブ」を提供するシステムを確立し、現在投与を行っております。



手術の推移



H26年から3ヵ月ごとの手術件数推移



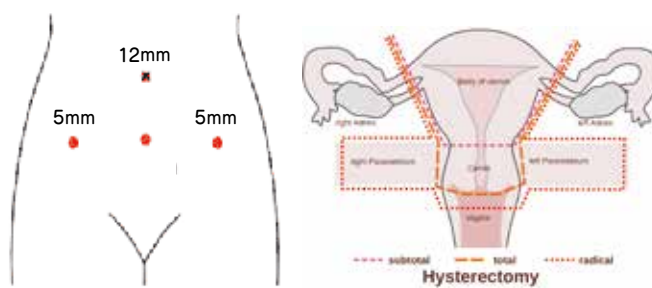
CHECK 1

腹腔鏡下手術・ロボット手術の導入

laparoscopic surgery, the introduction of robotic surgery

H26年から腹腔鏡下手術の適応拡大に努め、現在県内一の腹腔鏡下手術件数となっております。婦人科がんにおいて腹腔鏡下手術は開腹術と予後に差がなく、周術期合併症を減らすというエビデンスに基づき、がん治療への腹腔鏡下手術導入を試みました。結果H27年腹腔鏡下子宮体癌手術の保険認定施設となり、H28年7月からは全国でも限られた施設のみで行われる腹腔鏡下広汎子宮全摘術の先進医療認定を受けました。傷の痛みが少なく、また早期社会復帰が可能となり、受けた患者さまの満足度は高くなっております。

腹腔鏡下子宮摘出術創



また手術用ロボット「ダヴィンチ」を用いた広汎子宮全摘術がH28年4月に先進医療となったことを受け、当院でもロボット手術ができるよう体制を整え、8月に第一例目を行いました。



これら試みは他県に行かなくても最先端の治療が受けられるということだけでなく、がんに悩む女性の治療の選択肢を最大限に広げることが目的です。

今後も当科では「女性により良い医療を提供する」をモットーに診療の改善に努めて参ります。
貴院よりご紹介の労をお取りいただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

2016
地域連携
研修会
H28年度

5.31 THU

低出生体重児や病的新生児に対する治療
～NICUからみた地域連携を含めて～

平成28年5月31日、当院新生児科の根本篤医師がNICUと地域連携について講演いたしました。院外から49名の地域医療や療育に関わる多職種の方にご参加いただきました。当院NICUの様子を写真や映像を用いて紹介し、また、退院後のフォローアップや地域の各関係機関との連携について意見交換を行うなど有意義な講演内容となりました。



地域連携研修会が
開催されました。

6.22 WED

災害時の医療連携、その時何が必要か？
～熊本地震救護活動を経験して～

平成28年6月22日開催。当院救命救急センター岩瀬史明医師・金姫静看護師から報告、井上潤一医師による総括と参加者の方々とのディスカッションを行いました。院外から67名と大勢の方に参加していただき、行政・保健所・地域の医療機関・医師会の先生方等との活発な意見交換となりました。その中では、県の災害マニュアル・避難所を統括する部門の多重業務・被災地の保健師業務への支援・地域の医療機関との連携等の話題がだされました。



当院は院内・院外に向けた連携のための研修会を今後も定期的に行きたいと考えております。その都度ご案内させていただきますので是非ご参加ください。

ご挨拶

地域連携センター
主任看護師長

有賀 照子



県内2人目！医療福祉連携士として認定されました

この度、特定非営利活動法人日本医療マネジメント学会より「医療福祉連携士」の認定をいただきました。

「医療福祉連携士」とは、「地域の医療及び福祉の切れ目のない連携を図ることにより、限られた医療及び福祉機能の効率化を推進し、国民の医療及び福祉に資する」ことを目標として創設された資格です。

今年7月に承認を受けた地域医療支援病院としての、地域連携センターの機能をさらに強化を行い、多職種統合能力を発揮し、地域の医療・福祉・介護と連携を図り、患者さんが望む医療・療養先の支援・調整を行い、住み慣れた地域で暮らすお手伝いをしていきます。

紹介状のある初診患者さんは、患者さんご自身による電話予約や、
かかりつけ医によるFAX予約ができます。

当院では、日頃よりかかりつけ医を持っていただくことをお勧めしています。

紹介状のある初診患者さんは、初診の予約ができます。予約をすることで初診はさらにスムーズになります。

電話予約の流れ

1

かかりつけの
医院を受診

紹介状をもらってください

2

専用ダイヤルにお電話

以下にお電話ください

☎055-253-7900

9:00～17:00 月～金(祝祭日除く)

お電話前に準備してください

①紹介状 ②電話診療予約申込書
③当院の診察券(お持ちの方は)

3

受診当日

ご予約30分前に1番の初診窓口にお越しください

お持ちいただく物

①紹介状 ②電話診療予約申込書
③保険証 ④当院の診察券
⑤受給者証(老人医療、公費等該当する方)